

地球温暖化防止活動



脱炭素社会の実現に向けた取り組み

世界的に深刻化する気候変動問題を踏まえ、脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざす動きが広がっています。このような中、太陽光などの再生可能エネルギーを使用して発電した電力を自家消費することで、事業活動における二酸化炭素（CO₂）の排出量を削減する取り組みが高まっています。当社でも、環境負荷低減を図る活動の一環として、2020年8月から新発田工場の屋根に、太陽光パネルによる発電設備を設置し自家消費型太陽光発電（PPA）を開始いたしました。太陽光を利用した発電により、年間約210トンの二酸化炭素削減を見込んでいます。



新発田工場 外観

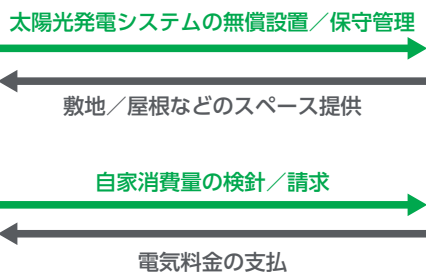


新発田工場屋根太陽光パネル

PPA 概要



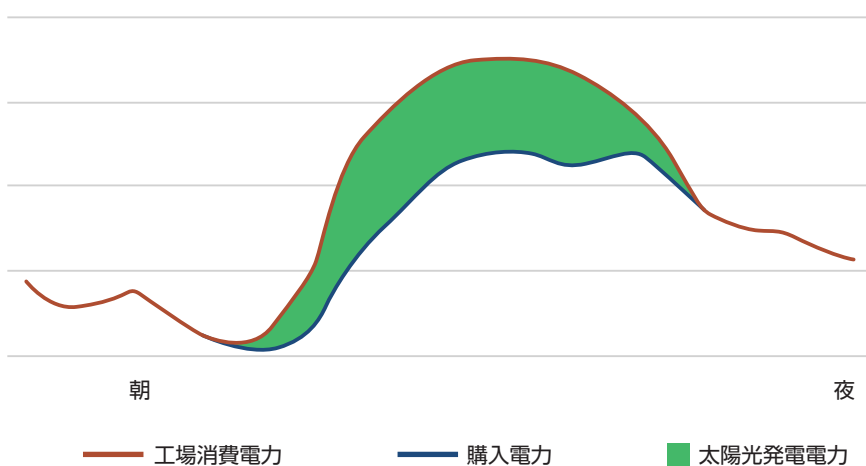
PPA 事業者



当社

出典 <https://www.solar-frontier.com/>

使用状況図



メリット

工場での電力消費ピーク時に、太陽光によるクリーンな電力供給を行い、省資源と地球温暖化防止への貢献を図ります。

地球温暖化防止活動



ホワイト物流自主行動宣言

国土交通省、経済産業省、農林水産省が推進する「ホワイト物流推進運動」に賛同し、自主行動宣言を提出しました。近年のトラック輸送における人員不足や労働時間などの課題に対して、宣言した7項目への継続した取り組みを通じ、トラック輸送における作業環境と労働環境の改善などの働き方改革を、業界と連携して推進してまいります。

取組項目	取組内容
物流の改善提案と協力	物流事業者からの荷待ち時間や荷役時間の削減等の物流効率化提案があった場合協議に応じ、相互協力して物流効率化の推進に努めます。
パレット等の活用	トラックドライバーの荷役作業の削減のため長距離幹線輸送の更なるパレット輸送の推進に努めます。
集荷先や配送先の集約	事前に輸送する商品を集約して積み込み場所の削減を図ります。また配送先についても直送先を再検討し、可能な部分は集約できるよう努めます。
リードタイムの延長	長距離幹線輸送の出発から到着まで物流事業者より、リードタイムの延長について要請があった場合、真摯に協議に応じます。
船舶や鉄道へのモーダルシフト	長距離幹線輸送について発送するコンテナの大型化等、更なる鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを推進し、環境負荷の低減に取り組みます。
納品日の集約	物流業者より1日では配送量が一定に満たない地域の隔日、定曜日配送について要請があった場合、真摯に協議に応じます。
異常気象時等の運行の中止・中断等	台風、地震などの災害、異常気象が発生、または発生が予測される際は、災害地の状況を考慮して無理な運行の依頼はしません。また物流事業者から乗務員の安全の確保のため運行の中止・中断の要請があった場合は応じます。

鉄道へのモーダルシフト増加とコンテナ大型化の推進

当社ではCO₂削減対策として、トラック輸送から環境にやさしい鉄道や船舶によるエコ輸送に転換する“モーダルシフト”に長年にわたり取り組んでおり、さらなるモーダルシフトを推進するため、鉄道モーダルシフトの増加とコンテナ大型化を推進しています。物流の分野においては、鉄道貨物輸送を利用して1トンの貨物を1km輸送したときに排出されるCO₂は、トラック輸送に比べて約11分の1と少なく、地球温暖化への影響を抑制できます。今後も継続して環境への負担が小さく、地球環境にやさしい輸送方法を積極的に活用し、商品の安定供給に努めてまいります。

【モーダルシフトについて】

幹線トラック輸送…12フィートコンテナ100台分の商品をトラックで輸送すると、10 tトラックが40台必要となる。



必要ドライバー人数



鉄道コンテナ輸送…1度の運行で輸送可能な12フィートコンテナ数は1両当たり5台×20両=100台となる。



運転士人数

鉄道貨物輸送はCO₂排出量が
トラックの約11分の1

エコレールマーク認定商品

当社は、国土交通省ならびに公益社団法人鉄道貨物協会が実施する“エコレールマーク^{※1}”活動に賛同し、2006年に“エコレールマーク取組企業^{※2}”の認定を受けました。また同年12月には、当社商品「イオン水」「天然名水出羽三山の水」「プチシリーズ」等で“エコレールマーク認定商品^{※3}”を受けるなど活動を進め順次拡大しています。2020年7月には、「ルマンド」を含む「オリジナルビスケットシリーズ」で新たに認証を取得し、パッケージへのエコレールマークの印刷を行っています。



- ※1 エコレールマーク：環境や地球にやさしい、鉄道貨物輸送を一定割合以上活用し、地球環境問題に積極的に取り組んでいる企業や商品であることを表示するマークです。
- ※2 エコレールマーク取組企業：500km以上の陸上輸送のうち、鉄道の利用率が数量または数量×距離のいずれかで15%以上であること。もしくは、年間の鉄道利用数量が15,000トン以上または数量×距離が1,500万トンキロ以上であることが要件です。
- ※3 エコレールマーク認定商品：500km以上の陸上輸送のうち、鉄道の利用率が数量または数量×距離のいずれかで30%以上であることが要件です。

水性グラビア印刷による包装材料を使用した商品

水性グラビア印刷した包装材料を積極的に採用しています。水性グラビア印刷は、油性グラビア印刷と比較して、印刷工程での大気中への二酸化炭素排出量を低く抑えることができるほか、VOC（揮発性有機化合物）の使用・排出を削減する効果があります。VOCの排出削減は印刷作業環境の改善、作業従事者の健康維持などに繋がっています。また、水性グラビア印刷を採用したパッケージには、地球と人にやさしい水性印刷を施した包装材料を使用した商品であることを示す“水性印刷商品認証マーク^{※4}”をパッケージに表示しています。当社では引き続き、消費者のみならず商品にかかわる人々の働く環境にも配慮した商品設計を行い、積極的に推進してまいります。



- ※4 水性印刷商品認証制度：包装材料の印刷作業環境を改善し、作業従事者の健康維持を図るとともに、大気への揮発性有機化合物の排出削減等、環境に対する企業の社会貢献活動を促進する目的で創設され、一般社団法人健康ビジネス協議会が実施している認証制度です。

地球温暖化防止活動



カーボン・オフセットの取り組み

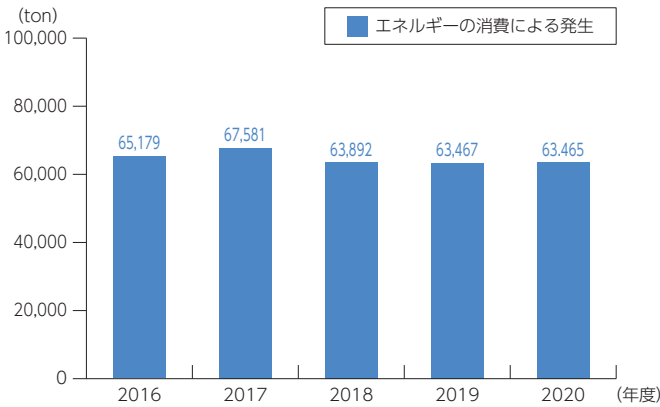
新潟県が推進する森林整備等への貢献を目的としたカーボン・オフセットの取り組みに賛同し、「魚沼わくわくの森クレジット」を購入しました。森林が私たちに与える豊富な恵みと、生物の多様性の保持、水源かん養機能など多面的な里山機能の復活と、地域林業の活性化を目指すとともに、森林が持つ二酸化炭素吸収機能による地球温暖化防止への貢献を図ってまいります。

商品へのシンボルマークの表示とともに、2020年度は新潟県が実施した「にいがた環境フェスティバル2020」にパネル出展を行い、カーボン・オフセットの周知啓発を図りました。

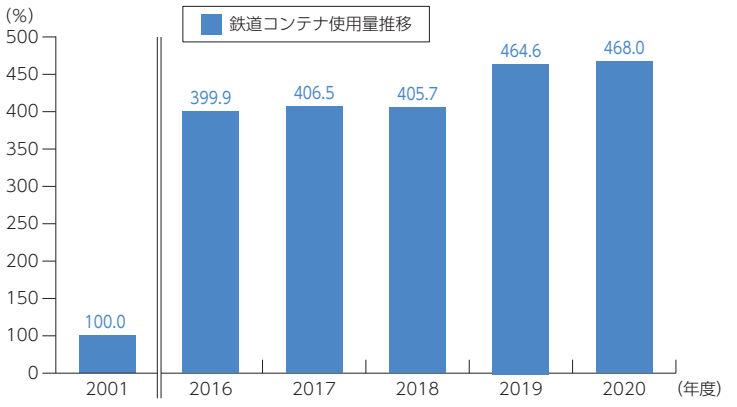


温室効果ガスの排出抑制

■全工場の二酸化炭素発生量



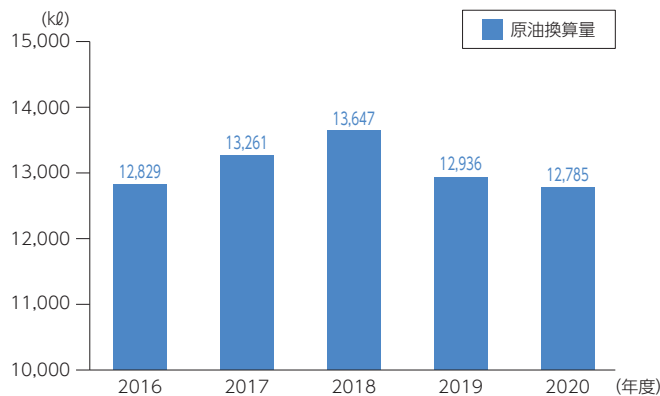
■製品輸送 鉄道コンテナ使用推移



※2001年度を100とした場合

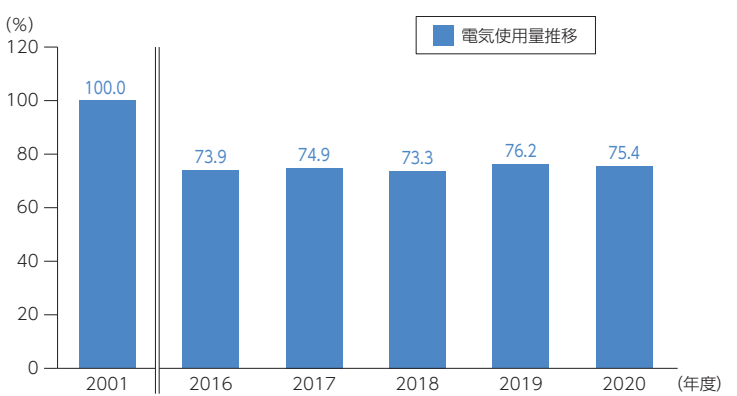
全工場のエネルギー使用量推移

■原油換算量 (電力を除く)



※発電用燃料は除く

■電気使用量推移



※購入電力、自家発電設備による電力の合計
※2001年度を100とした場合